

# 第55回(2023年度) サントリー音楽賞

## 贈賞理由

近藤譲はちょうど半世紀前の「線の音楽」シリーズ以来、その創作、著作を通じて日本の聴衆、音楽家を深いレベルで啓発し続けてきた。近藤の作品は、声高に激情を叫ぶようなものとは異なり、いつも静かに、しかしくっきりとした輪郭を示すもので、その影響は年月を超えて、今一層光を放つようになっている。

2023年度の「コンポージアム」(5月23～28日、東京オペラシティ)は、近藤の人と作品に焦点をあてたもので、ドキュメンタリー映画の上映とトーク、世界初演2曲を含む管弦楽の演奏会(そこには70年代の作品から最新作までが並んだ)、そして武満徹作曲賞の審査、さらには同時期に開催された作曲のマスタークラスや関連公演も含めてこの作曲家の現在を一望できる機会となった。

一つの音を置き、それを繰り返し聴くことによって次の音を見出し、さらにそれらの音を繰り返し聴くことによって第三の音を置く、といった近藤が繰り返し述べてきた作曲法は、かつて様々な作曲技法がもてはやされた時代には素朴すぎるように見えたし、その作品自体はかえって謎めいて聞こえたのだが、パンデミックや戦争によって人間(と人間集団)の孤立が深まり、さらにAIによる芸術の侵食が現実のものとなった今、近藤の音楽と言葉は、我々に深い覚醒が必要なことを告げているように思われる。

CD『近藤譲室内楽作品選集「昼と夜」』も含めて、前述のコンポージアムの諸成果を考えると、今年度はこの世界的に見ても稀有な、知的で誠実な活動を続けてきた作曲家を顕彰する絶好のチャンスである。ここにサントリー音楽賞を贈るものである。

(伊東信宏委員)

# サントリー音楽賞

「サントリー音楽賞」(旧名・鳥井音楽賞)は1969年に創設され、毎年、わが国の洋楽の発展にもっとも顕著な業績のあった個人または団体に贈られます。第55回(2023年度)の選考は2024年1～2月に以下の選考委員7名により行われました。

伊東信宏・片山杜秀・白石美雪・長木誠司・沼野雄司・船木篤也・松平あかね(敬称略・50音順)

第1回	1969年度	小林道夫(ピアノ・チェンバロ・指揮)
第2回	1970年度	堤 剛(チェロ)
第3回	1971年度	三谷礼二(オペラ演出)
第4回	1972年度	小川 昂(理論・評論)
第5回	1973年度	ICUオルガン委員会(国際基督教大学)
第6回	1974年度	秋山和慶(指揮)
第7回	1975年度	栗林義信(声楽)
		山根銀二(評論)
第8回	1976年度	芥川也寸志と新交響楽団
第9回	1977年度	常森寿子(声楽)
第10回	1978年度	松村禎三(作曲)
第11回	1979年度	吉原すみれ(打楽器)
第12回	1980年度	妹尾河童(舞台美術)
		特別賞 江戸英雄(第1回日本国際音楽コンクール会長)
第13回	1981年度	柴田南雄(作曲)
第14回	1982年度	外山雄三(指揮)
		特別賞 原 清(ザ・シンフォニーホール建設グループ代表)
第15回	1983年度	鈴木敬介(オペラ演出)
第16回	1984年度	豊田喜代美(声楽)
第17回	1985年度	日本テレマン協会(室内管弦楽団・合唱団)
第18回	1986年度	内田光子(ピアノ)
		若杉 弘(指揮)
第19回	1987年度	岩城宏之(指揮)
第20回	1988年度	林 康子(声楽)
第21回	1989年度	有田正広(古楽演奏)
第22回	1990年度	武満 徹(作曲)
第23回	1991年度	尾高忠明(指揮)
第24回	1992年度	練木繁夫(ピアノ)
第25回	1993年度	五嶋みどり(ヴァイオリン)
		特別賞 ウォルフガング・サヴァリッシュ(指揮)
第26回	1994年度	和波孝禧(ヴァイオリン)
第27回	1995年度	今井信子(ヴィオラ)
第28回	1996年度	園田高弘(ピアノ)
		湯浅譲二(作曲)

第29回	1997年度	東京交響楽団
第30回	1998年度	林 光(作曲)
第31回	1999年度	三善 晃(作曲)
第32回	2000年度	飯守泰次郎(指揮)
第33回	2001年度	一柳 慧(作曲)
第34回	2002年度	小澤征爾(指揮)
		木村かをり(ピアノ)
第35回	2003年度	野平一郎(作曲・ピアノ)
第36回	2004年度	西村 朗(作曲)
第37回	2005年度	鈴木秀美(チェロ・指揮)
第38回	2006年度	東京混声合唱団
第39回	2007年度	細川俊夫(作曲)
第40回	2008年度	小山由美(声楽)
第41回	2009年度	大野和士(指揮)
第42回	2010年度	渡邊順生(チェンバロ)
第43回	2011年度	受賞者なし
第44回	2012年度	藤村実穂子(声楽)
第45回	2013年度	鈴木雅明とバッハ・コレギウム・ジャパン
第46回	2014年度	広上淳一と京都市交響楽団
第47回	2015年度	トッパンホール
第48回	2016年度	小菅 優(ピアノ)
第49回	2017年度	読売日本交響楽団
第50回	2018年度	高関 健(指揮)
第51回	2019年度	河村尚子(ピアノ)
第52回	2020年度	三輪眞弘(作曲)
第53回	2021年度	濱田芳通(指揮・リコーダー・コルネット)
第54回	2022年度	井上道義(指揮)
第55回	2023年度	近藤 譲(作曲)
第56回	2024年度	山田和樹(指揮)
		特別贈賞 1979年6月 巖本真理弦楽四重奏団(弦楽四重奏)
		1997年8月 黛 敏郎(作曲)